

カ タ リ ナ

学報

第27号



St. Catherine University

聖カタリナ大学 / 聖カタリナ大学短期大学部

2011. 12. 1



大学における組織の統治(ガバナンス)

学校法人聖カタリナ学園理事長 中田 婦美子



2010年3月、大学は大学基準協会から、同様に短期大学部も短期大学基準協会からそれぞれ正式な認証評価を受けた。これを機に、改めて大学の統治とは何かを考えてみたい。

1991年、文部省(当時)は大学設置基準の大綱化の下に新設置基準を設け、法令によりその重要項目の一つとして、各大学において自己点検・自己評価制度を設けることを義務づけた。早速、本学においても大学基準協会会長の青木宗也氏(当時)をお招きし、評価制度への全学的理解を深めると共に、その作業にとりかかることになった。その折、青木氏が「大学が学問と文化を継承し、更に発展させるといふ社会的責務を果たしていくために、教育及び研究の水準を向上し、活性化を図ることがその任務を実現する道につながる。そのためにも不断の自己点検・評価による大学改革が必要である。」と強調された。本学の統治のあり方を再考するとき、このことは、今なお新しく多くの示唆を与えてくれていると思う。

統治(ガバナンス)とは、本来国家構成員の活動を統制し、また指示する権威の行使のことであり、また、広く公共の秩序の維持と共通善の促進をその目的とすると解されている。本学の統治の根本理念

には、更に神の統治の普遍的な意味があることを理解しなければならない。カトリック教会を代表する偉大な教会博士、ドミニコ会の神学者聖トマス・アクィナスは神の統治論について、「この世の統治は神の摂理の実践にほかならない」と述べている。この観点から、本学の組織における統治の具体的な方策について考えてみたい。

1. 「大学の将来構想計画(経営のGrand Design - 以下GD)」

本学の将来構想計画を論ずるとき、建学の精神に基づくより高度な教育研究と、学生の学問探究及び学習意欲を育成する教学側と、大学を継続し社会還元を可能にするために必要な体制づくりをする経営側との協働が不可欠である。そのために経営側と教学側との連携には、常に適切な調整が求められ、教学側も大学経営に対して透明性の高い意志決定を構築するために、経営側との密接な協議が必要となる。大学は教学側の将来構想計画と意志決定にかかわるプロセスにおいて、その経営戦略の裏付けとなる財源を行動に結びつけるために経営側と具体的な目標、期限、計画を検討する。

現在、大学のGDの一端として、昨年度より中長

期経営計画を導入し、従来の予算編成では改善されにくい構造上の欠陥を見直すために、5年間にわたる経営改善のためのより具体的な数値目標を設定した。その経営改善計画実施管理表に基づいて算定される各年の収支が、持続可能な成果として整合性があるかどうかを検証するためである。それは教学においてより高い教育効果を期待する改組計画・学科編成、それに要する人件費・管理経費・教育経費等を総合的に試算し、資金運用の適正をはかることが統治に関する重要な指標となると考えるからである。

II. 「大学の社会的責任 (University of Social Responsibility—以下USR)」

大学経営に関わる統治の他の要件として、社会的責務の遂行について考えなければならない。まず大学はその教育理念により学生の人格を高め、将来社会の構成メンバーとなり、共通善のために貢献できる有能な人材を育成すべき使命を有する。更に、大学が知的、文化的な公共的機関としてUSRを適切に果たしていくためには、大学運営の危機管理体制の充実が必要とされる。それは、大学業務の事前のリスク管理、自然災害、人為的障害の未然の防止策、または全学生、教職員の危機に対する意識の改革等に対する危機管理体制と組織統治及びチェック機能の強化がそれに該当する。

文部科学省によれば、「私立学校におけるいわゆる教学的な面と経営的な面とは密接不可分のものであり、また、学校法人が学校の設置管理を行うことを目的として設置される法人であることに鑑みれば、監事の監査対象である学校法人業務は経営面のみに限定されるものではない」とあり、具体的には次の2点があげられる。

1. 「監事の責任・権限の強化」

2005年に施行された私学法改正によって、理事会に関する規定を整備することに加えて、監事の責任・権限、つまり監査というものを強化すると共に、監事の職務範囲、監査の対象範囲がより明確になったことである。すなわち、学部・学科の新増設や教

育・研究における重点分野の決定、学生・生徒の募集計画、入試等、教学的な内容についても、学校法人の経営に関連する問題である以上、将来監事による監査の対象となりうるということである。

2. 「情報公開の義務化」

大学教育は本来社会的、公的責任を有するがゆえに、学生、父母、卒業生、企業、官公庁等の利害関係者(ステークホルダー)に大学の教育の実態を公開する義務がある。すなわち、大学は「教育及び研究の水準を向上させ、質の高い学生を育成」するために、いわゆる大学の多様化、個性化、高度化への実現の達成度について情報公開し、社会的評価を受けることの認識を持たなければならない。

以上にあげた大学の統治についてのGDとUSRからの概観は統治の全貌を把握するものではないが、少なくともこのような将来構想計画の目標値の設定と実践、組織と権限における責任の行使は統治の基本であると考えられる。

最後に、聖トマスが「神の統治というのは神秘的な摂理ではあるが、決して特殊なことではない。それは、われわれが日頃看過する程のごく日常的で、具体的なことであり、現実の保証なのである。」と述べているように、本学の統治が愛と正義の精神に基づくものである限り、「神の摂理の実践」とは矛盾しないということを全教職員に理解していただければ幸いである。



●日本カトリック大学連盟の総会が開催されました

2011年度日本カトリック大学連盟総会が、6月10日(金)・11日(土)の両日にわたり、本学を当番校として、道後山の手ホテルと本学会議場で開催されました。

総会では、2010年度決算・事業計画・予算の他、連盟の運営のために主要な案件が審議され、その後の意見交換では、カトリック大学が社会に果たすべき役割について、加盟校の学長や理事長により様々な視点から討議されました。

※日本カトリック大学連盟とは、カトリック教会の使命を受けた大学の集まりで、共通の建学の理念を有するために集まった組織です。連盟では、日本におけるカトリック大学間の協力関係を推進し、カトリック教育の使命達成のために活動を行っております。

加盟校は全国の20大学によって組織されています。



●保育学科公開講座『リカレントセミナー』

8月23日(火)に第12回聖カタリナ大学短期大学部 保育学科公開講座『リカレントセミナー』が開催されました。

午前・午後の各2講座に、幼稚園、保育所(園)に勤務されている延べ54名の先生方が参加されました。それぞれの講座で新たな知識や技術を学び、また明日からの保育に生かせる「おみやげ」をいっぱい持って、みなさん笑顔で帰られました。



●2011年度大学祭

2011年度大学祭「助け愛～できることからコツコツと～」が、10月28日(金)から30日(日)にかけて開催されました。

最初にホビノ・サンミゲル学長の司祭によるミサが行われ、展示・バザー会場では、たこ焼きや焼きそばなど学生が運営する多数の模擬店が並びました。学生はもちろん市民の皆様にも楽しんでいただけるように盛りだくさんの行事が企画され、地域の子どもからお年寄りまでたくさんの方にご来場いただきました。

その他、毎年恒例のパイプオルガン演奏会が、今年度は東日本大震災チャリティーコンサートとして開催されました。

ご来場いただいた皆様ありがとうございました。

●聖カタリナ大学個別面談

聖カタリナ大学では、6月25日(土)と11月12日(土)に保護者の方を大学に招き、修学状況や就職・日常生活等について指導教員との個別面談が行われました。

個別面談は今後の学生生活がさらに充実するように大学と保護者がコミュニケーションをとることができる機会であると同時に、保護者の方にも修学状況を把握していただき、大学と連携しながら、学生をサポートしていくことを目的とし毎年実施しています。

●まつやまシニアカレッジ

聖カタリナ大学と松山市社会福祉協議会は、共同企画プロジェクトとして「まつやまシニアカレッジ」を開講しています。

これは松山市在住の60歳以上の方を対象に、高齢者向けの幅広いカリキュラムを用意し、より豊かな知識の習得と介護予防のきっかけづくりを目的に、5月13日(金)から12月9日(金)まで10回の講義が行われます。



◆◇平成 23 年度前期行事 (H23.4.1 ~ H23.9.30) ◇◆

月	日	曜	区	行 事
4	1	金		前学期開始
			大	教授会
			大	社会福祉実習委員会
			大	調印式(釜山カトリック大学校)
			短	教授会
	2	土		入学式
	4	月		オリエンテーション(~4/6)
	5	火		国際交流委員会
	6	水	大	教職課程委員会
	7	木		前学期授業開始
				会計監査(~4/8)
				就職委員会
	8	金	大	健康福祉マネジメント学科会議
			短	保育学科会議
	9	土	短	カタリナキャンプ
	12	火	大	人事委員会
	13	水		広報委員会
	15	金	大	学部年間計画協議会
				入試・募集委員会
	19	火		キリスト教研究所所員会
	20	水		教職員健康診断
				大学訪問(大洲農業高等学校3年生)
	21	木		ボランティアセンター運営委員会
				F D 委員会
	22	金	大	カタリナキャンプ(~4/23)
	23	土		理事会
	26	火	大	大学評価委員会
				S D 委員会
	27	水		人間文化研究所所員会
			人間文化研究所研究紀要編集委員会	
29	金		学園創立記念日	
5	6	金		図書館委員会
	7	土	大	社会福祉土国試対策講座[4回生](~5/8)
	9	月		会計監査(~5/10)
	10	火		国際交流委員会
	11	水	大	学生生活委員会
			短	教授会
	13	金		まつやまシニアカレッジ(開講式)
			大	教授会、人事委員会
			短	保育学科会議
	14	土	大	社会福祉土国試対策講座[4回生](~5/15)
	18	水		課外活動協議会
19	木		調印式(モザンビーク聖トマス大学)	
			母をたたえる日	

月	日	曜	区	行 事	
5	19	木		大学説明会(中村会場)	
	20	金		大学説明会(本学会場)	
	21	土	大	社会福祉土国試対策講座[4回生](~5/22)	
	24	火		大学説明会(新居浜会場)	
	25	水		大学説明会(八幡浜会場)	
	26	木		S D 委員会	
	27	金		大学説明会(宇和島会場)	
				まつやまシニアカレッジ	
	28	土	大	社会福祉土国試対策講座[4回生](~9/29)	
	30	月	大	教育実習[社4・マネ4](~6/10)	
			短	幼稚園教育実習[保2](~6/10)	
	6	1	水		教育充実ワーキングチーム会議
		2	木		高大連携計画委員会
		3	金	大	教授会
				大	就職委員会大学部会
				短	将来計画委員会
		4	土		後援会役員会
8		水		調印式(愛媛 F C アカデミー)	
9		木		大学訪問(北条高等学校2年生)	
10		金		2011年度日本カトリック大学連盟総会 (~6/11)	
12		日		元気な集落づくり事業	
13		月	大	精神保健福祉援助実習[社4](~7/1)	
14	火	大	人事委員会		
16	木		S D 委員会		
17	金		まつやまシニアカレッジ		
		大	社会福祉実習委員会		
短	保育学科会議				
18	土		オープンキャンパス①		
21	火		入試・募集委員会		
24	金		人間文化研究所研究紀要編集委員会		
			人間文化研究所フォーラム		
		大	人事委員会		
		大	保護者と指導教員との個別面談		
25	土		介護技術講習会(~6/26)		
			評議員会・理事会		
			四国インカレ(~6/26)		
30	木		広報委員会		
7	1	金	短	教授会	
				まつやまシニアカレッジ	
	2	土		四国インカレ(~7/3)	
			大	介護技術講習会(~7/3)	
	大	社会福祉土国試対策講座[4回生](~7/3)			

月	日	曜	区	行 事
7	5	火	大	社会福祉現場実習連絡協議会
	6	水	大	人事委員会
	8	金	大	学内福祉就職相談会
				教授会、選考教授会
				短 保育学科会議
	11	月	短	保育実習Ⅱ・Ⅲ[保2](~7/23)
	12	火	大	学生相談室運営会議
				教務委員会
				教務委員会大学部会
	13	水		S D委員会
	14	木		ボランティアセンター運営委員会
				まつやまシニアカレッジ
				将来計画委員会
				図書館委員会
	16	土		オープンキャンパス②
	17	日	大	社会福祉土国試対策講座[4回生](~7/18)
	20	水		人間文化研究所研究紀要編集委員会
				奨学制度運営委員会
	22	金		人間文化研究所フォーラム
				奨学制度運営委員会
23	土	大	社会福祉土国試対策講座[4回生]	
			理事会	
25	月	大	前期試験(~7/29)	
			社会福祉学科会議	
26	火		経営状況報告会	
27	水		教育充実ワーキングチーム会議	
28	木		S D委員会	
31	日	大	社会福祉土国試対策講座[4回生]	
8	1	月		夏季休業(~9/24)
	3	水	大	就職委員会大学部会

月	日	曜	区	行 事
8	5	金	大	教授会
				短 教授会
	7	日		オープンキャンパス③
	8	月	大	精神保健福祉援助実習[社4](~9/2)
				大 介護福祉実習[介2](~9/2)
	10	水	大	社会福祉援助実習[社3、マネ3、スポ3、介4、編4](~9/9)
				短 保育学科会議
	11	木	大	介護福祉実習[介3](~9/7)
	23	火	短	保育学科公開講座リカレントセミナー
	26	金	大	A O入試面接
				短 A O入試面接
				介護技術講習会(~8/27)
	30	火		事務職員研修
9	4	日		介護技術講習会
	8	木	大	人間社会学科会議
	10	土		介護技術講習会
	17	土		理事会
	18	日		オープンキャンパス④
	22	木	大	人事委員会
	24	土		前学期終了
	25	日		後学期開始
	26	月		後学期履修ガイダンス
				前期末卒業式
				大 教授会
				短 教授会
				短 保育学科会議
27	火		後学期授業開始	
30	金		奨学制度運営委員会	

◆◇ 人 事 ◇◆

《平成23年5月31日付け》

【退職】

人間健康福祉学部
教授 藤沢 真理子

《平成23年6月1日付け》

【新規採用】

入試課
事務職員(非) 川中 陽佳

《平成23年6月1日付け》

【配置換】

図書課
事務職員 門多 和広

《平成23年6月30日付け》

【退職】

総務課
事務職員(非) 大石 雅実

◆◆ 平成 23 年度教授会議題（前期） ◆◆

【聖カタリナ大学教授会議題】

H23. 4. 1 第1回

1. 平成24年度聖カタリナ大学入試概要について
2. 退学について
3. 復学について
4. 除籍について
5. 科目等履修生の受け入れについて
6. 聴講生の受け入れについて
7. 入試・募集委員会規程の一部改正について

H23. 5. 13 第2回

1. 退学について
2. 復籍について
3. 休学について
4. 長期履修学生の在学期間の変更について

H23. 6. 3 第3回

※報告・連絡事項のみ

H23. 7. 8 第4回

1. 科目等履修生の受け入れについて

H23. 8. 5 第5回

1. 聖カタリナ大学学部長候補者選考規程の一部改正について

H23. 9. 26 第6回

1. 前学期末卒業者の認定について
2. 休学について
3. 退学について

4. 除籍について

5. 科目等履修生の受け入れについて

6. 聴講生の受け入れについて

【聖カタリナ大学短期大学部教授会議題】

H23. 4. 1 第1回

1. 平成24年度聖カタリナ大学短期大学部入試概要について
2. 科目等履修生の受け入れについて
3. 入試・募集委員会規程の一部改正について

H23. 5. 11 第2回

1. 退学について

H23. 6. 3 第3回

※報告・連絡事項のみ

H23. 7. 1 第4回

1. 聖カタリナ大学短期大学部教授会規程の一部改正について

H23. 8. 5 第5回

1. 退学について
2. 前学期末卒業予定者の卒業の認定方法について

H23. 9. 26 第6回

1. 前学期末卒業者の認定について
2. 退学について
3. 除籍について
4. 科目等履修生の受け入れについて

◆◆ 平成 23 年度 クラブ等 活動状況 ◆◆

H23.12.1 現在

体育局

クラブ名	期 間	大会名・イベント名等	開催場所	人数	備 考
なぎなた部	5/3～5/5	強化練習会	愛媛県武道館	3	
	6/12	第66回 国民体育大会なぎなた競技（少年女子の部）	愛媛県武道館	3	役員として参加
	7/10	第46回 愛媛県なぎなた選手権大会	愛媛県武道館	3	個人：長澤綾1位、小田明日香3位
	7/31	第66回 国民体育大会なぎなた競技（成年女子の部）愛媛県予選会	三浦工業株式会社 体育館	3	長澤綾5位
	8/7	第50回 全日本学生なぎなた選手権大会	福井県立武道館	3	出場
	9/23～9/25	国体選手強化合宿	大分県立大分西高等学校	1	
	11/6	第28回 愛媛県なぎなた秋季大会	愛媛県武道館	2	演技：3位、団体：3位
	11/27	第36回 西日本学生なぎなた選手権大会	大阪府豊中市立武道館ひびき	2	
剣道部	4/17	第3回 全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会愛媛県大会	愛媛県武道館	4	出場
	4/24	第66回 国民体育大会剣道競技（成年男子の部）（成年女子の部）候補選手選考会	愛媛県武道館	10	2回戦進出
	5/15	第58回 中四国学生剣道選手権大会 第43回 中四国女子学生剣道選手権大会 第14回 中四国学生剣道Challenge Cup	愛媛県武道館	26	3回戦進出
	5/28・29	第56回 西日本学生剣道大会 第26回 西日本女子学生剣道大会	福岡市民体育館	24	男子：2回戦進出、女子：ベスト16
	6/5	第27回 香川近県学生剣道定期大会	香川大学	20	男子・女子：Bチームアベック優勝、女子：Aチーム3位
	6/26	第62回 四国地区大学総合体育大会	松山大学	24	出場
	8/28	第58回 中四国学生剣道優勝大会 第38回 中四国女子学生剣道優勝大会	岡山市総合文化体育館	24	男子：出場、女子：3位（全日本女子学生剣道優勝大会出場決定）、宮川千絵美（女子優秀選手賞）
	11/6	第30回 全日本女子学生剣道優勝大会	春日井市総合体育館	24	出場
ダンス部	7/29	野外ステージショー	聖カタリナ大学	20	
	8/13	まつやま祭 「野球拳おどり」（団体連の部）	松山市内	25	7位、特別賞「テレビ愛媛賞」受賞
	10/30	大学祭 ステージショー	聖カタリナ大学		
硬式テニス部	6/18～6/23	春季中国四国学生テニス選手権大会	広島県	14	男子シングルス：久世幸寿本戦出場
	7/1	第62回 四国地区大学総合体育大会	松山中央公園	11	出場

クラブ名	期 間	大会名・イベント名等	開催場所	奨 励 数	備 考
卓球同好会	7/1・2	第62回 四国地区大学総合体育大会	松山市総合コミュニティセンター	11	男子ダブルス、男子シングルス、女子シングルス：2回戦出場
男子バスケットボール部 (同)	5/28・29	全四国大学バスケットボール新人大会	香川県	13	第3位
	6/25・26	第62回 四国地区大学総合体育大会	愛媛大学 松山大学	12	第3位
	10/8・9	全日本大学バスケットボール選手権大会予選	高知大学 高知工科大学	12	第3位
フットサル部(同)	6/26	全日本大学フットサル大会2011 四国地域予選	香川県立大川体育館	22	準決勝進出
	7/2・3	第62回 四国地区大学総合体育大会	聖カタリナ大学 愛媛大学	24	出場
J O Y (愛)	10/29・30	大学祭 バザー	聖カタリナ大学		
ソフトボール愛好会	7/1	第62回 四国地区大学総合体育大会	しおさい球場	19	2回戦進出
男子ハンドボール部 (愛)	8/29～9/2	第50回 中四国学生ハンドボール選手権秋季リーグ戦	キリンビバレッジ 周南総合スポーツセンター(山口県)	11	6位
	10/29・30	大学祭 バザー	聖カタリナ大学		
軟式野球愛好会	10/29・30	大学祭 バザー	聖カタリナ大学		

文化局

クラブ名	期 間	大会名・イベント名等	開催場所	奨 励 数	クラブ名	期 間	大会名・イベント名等	開催場所	奨 励 数
琴部	10/30	大学祭 ステージショー	聖カタリナ大学		Mad Clowns (愛)	7/31	正岡公民館祭り	正岡公民館	4
華道部	10/29・30	大学祭 展示	聖カタリナ大学			8/5	公演	児童福祉施設みどり児童クラブ	6
茶道部	8/7	学校親睦茶会	生活文化センター	2		8/6	丸山荘夏祭り	丸山荘	6
	8/29	24時間TVチャリティ茶会	南海放送局	2		8/18	和ホスピタル夏祭り	和ホスピタル	3
宗教 研究部	4/2	入学式 補助	聖カタリナ大学			8/18	公演	児童福祉施設和気児童クラブ	7
	5/19	学内ミサ「母をたたえる日」	聖カタリナ大学			8/27	伊予市商店街祭り	伊予市商店街	11
	5/20	歓迎ミサ・パーベキュー	聖カタリナ大学			9/19	公演	デイサービスよかよか倶楽部	7
	10/28	学内ミサ「大学祭」	聖カタリナ大学			9/21	公演	総合福祉施設アイル	4
	11/4	学内ミサ・パーベキュー	聖カタリナ大学			10/16	公演	城山公園	
大地裏りの会 (部)	10/29・30	大学祭 バザー	聖カタリナ大学			10/30	大学祭 ステージショー	聖カタリナ大学	
フォーク ソング部	7/22	バンド演奏「Wonder Wonder」 ツアー2011	山口県	5	地球村 (愛)	10/29・30	大学祭 バザー	聖カタリナ大学	
	10/29・30	大学祭 「ROCK FESTIVAL 2011」	聖カタリナ大学		トトロ (愛)	10/29・30	大学祭 ステージショー、バ ザー	聖カタリナ大学	
V・Y・S部	4月	ボランティア	松山市内	6	はっぴー デザイン 研究会 (愛)	4/11	春の清掃活動	聖カタリナ大学周辺	25
	4月	花見(親睦会)	松山市内	10		10/29・30	大学祭 バザー	聖カタリナ大学	
	5月	ボランティア	松山市内	7		11/4	秋の清掃活動	聖カタリナ大学 JR伊予北条駅周辺	
	6月	ボランティア	松山市内	7	Honey's (愛)	10/29・30	大学祭 バザー	聖カタリナ大学	
	7月	ボランティア	松山市内	8		その他	4/11・12	学内募金	聖カタリナ大学
	7月	親睦会	松山市内	16	4/17	あしなが募金	いよてつ高島屋前		
	8月	ボランティア	松山市内	8	4/29	4-Rings防犯キャンペーン	砥部動物園		
	9月	ボランティア	松山市内	8	5/1	がんばろう日本 愛媛から愛 を「結のひかり」	大街道		
	10/29・30	大学祭 バザー	聖カタリナ大学		5/15	ライブアースまつやま	城山公園		
May Club (部)	木曜日 (月2-3回)	手話講師	河野小学校	3~4	5/22	障害者スポーツ大会	総合運動公園		
	6/30	お楽しみ会	聖カタリナ大学	16	6/25	ボランティア活動ガイダンス	松山市総合福祉セ ンター		
	7/9	手話コーラス	松山市内		7/16	夏の献血キャンペーン2011	エミフルMASAKI		
	10/8	手話コーラス	松山市内		7/21・22	学内清掃	聖カタリナ大学		
漫画研究部 (同)	10/29・30	大学祭 展示	聖カタリナ大学		10/29・30	大学祭	聖カタリナ大学		
	5/20	公演	和ホスピタル	6					
Mad Clowns (愛)	5/21	公演	いよてつ会館	7					
	7/9	公演	いつきの里	5					
	7/16	夏祭り	南吉井保育所	10					
	7/22	夏越祭り	南高井病院	8					
	7/22	公演	黒住教郡中教会所	5					

個 人

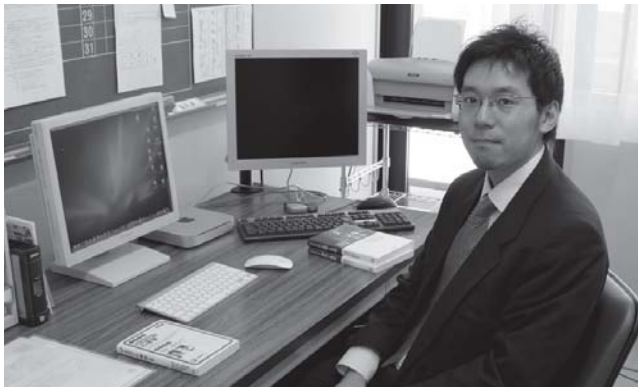
氏 名	期 間	大会名・イベント名等	開催場所	奨 励 数	備 考
石川 豊朗	7/1～7/3	第15回 日本男子学生選抜バスケットボ ール大会	名古屋市東スポーツセン ター		四国選抜として出場9位
高橋 美帆	7/5・7/6	第66回 国民体育大会ゴルフ女子選手選考 会	松山シーサイドカントリークラブ サンセットヒルズカントリークラブ		3位(国体出場決定)
	10/5～10/8	第66回 国民体育大会山口大会	宇部72カントリークラブ		愛媛県19位

(同)…同好会
(愛)…愛好会

◆◇ 研究室探訪 ◇◆

聖カタリナ大学

人間健康福祉学部講師 丹藤 克也



本年度より新設された人間社会学科に赴任し、はや半年が経過しました。赴任する以前は神奈川で3年間を過ごし、2011年3月下旬、新しい環境での生活に対する期待と不安を胸に、そして少し慌ただしく松山の地を踏みました。東日本大震災の影響を受けたことが、慌ただしかった理由の一つです。直接の被害は少なかったものの、余震に備えての情報収集や輪番停電など、思いのほか地震の影響を受けました。引越準備をはじめ、溜まっていた原稿執筆まで、色々な作業が大幅に遅れ、バタバタと松山入りすることになりました。

震災直後の体験について、もう少し触れてみたいと思います。震災当日は、前任校に出勤する最終日でした。荷物の整理を終え、お世話になった方々にご挨拶をしようと思っていた矢先、大学内で震災に遭いました。その日は通勤に利用していたJRが終日運休となり、結局、約30kmの距離を6時間ほどかけて徒歩で帰宅することになりました。帰宅の道中、「使ってください」という張り紙とともに、使い捨てカイロが道端に置いてあったことが思い出されます。震災直後で皆が混乱し不安を抱えるなか、他人を思いやる行動をとれる人がいる。そのことに、小さな感動を覚えました。まだ数ヶ月しか経っていないこともありますが、こうした震災直後の出来事を今も鮮明に、そして詳細に思い出すことができます。

数ヶ月前の出来事に限らず、遠い昔の出来事で

あっても、重大な出来事や衝撃的な出来事の記憶は、非常に鮮明かつ詳細で、写真のように記憶されていることがあります。地下鉄サリン事件や米国同時多発テロのニュースを初めて聞いた場面を詳しく思い出せる方は多いことでしょう。心理学ではこれを「フラッシュバルブ記憶」と呼んでいます。私は心理学を専門としていますが、その中でもこうした「記憶」の問題に関心を持っています。

記憶には不思議な点がたくさんあります。嫌な出来事はなかなか忘れられない。しかし、大事なことはすぐに忘れてしまう。いまご紹介したフラッシュバルブ記憶にも、興味深い特徴があります。実は、重大な出来事の記憶で、とても鮮明・詳細に覚えているのに、記憶の内容が歪んでおり、事実と違っていることが多いのです。フラッシュバルブ記憶に限らず、鮮やかで自分にとっては「間違いない」と感じられる記憶も、事実関係を調べてみると、誤っていることが意外と多いものです。

人間の記憶は歪みややすい性質を持っています。私の研究テーマの一つが、このような「記憶の歪み」が起こるメカニズムやその社会的影響です。例えば、刑事裁判では事件を目撃した人の記憶、つまり目撃証言が、判決に大きな影響を及ぼすことがあります。しかし、その目撃証言が間違っていたら、どうでしょうか。海外の研究では、無実の人が有罪判決を受けた誤判事例の多くに、誤った目撃証言が関わっていることが明らかにされています。

こうした誤りが発生するメカニズムの解明、防止策の提案などが私の研究者としての課題の一つとなっています。そして、記憶に関わる問題に限ることなく、本学での教育・研究活動を通じて、現代社会が抱える問題・課題に対して、心理学の観点から解決策を提案していける人材の育成に、微力ながらも貢献していきたいと思っています。

聖カタリナ大学・短期大学部学報
〒799-2496 松山市北条660番地
TEL. 089-993-0702(代)
<http://www.catherine.ac.jp>

編集・発行
広報委員会
kouhou@catherine.ac.jp